

平成30年4月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成30年4月20日(金)  
午後1時から午後2時
- 2 開催場所 役場 第1会議室
- 3 出席委員 本 明 陽 一 教育長  
加 藤 東 子 委員(教育長職務代行)  
村 松 淳 司 委員  
高 田 修 委員  
石 川 一 美 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者  
教育次長 佐 藤 博 昭  
教育総務課長 庄 司 幾 子  
生涯学習課長 庄 子 敦  
総務給食班長 佐々木 辰 己  
総務給食班主幹 加 藤 典 子
- 6 傍聴者 なし
- 7 開会宣言  
本明 陽一教育長 開会を宣言する。
- 8 会期の決定  
本明 陽一教育長 会期は4/20(金)の一日とすることを提案し承認される。
- 9 平成30年3月定例会会議録の承認  
本明 陽一教育長 平成30年3月定例会会議録について事務局説明願います。  
庄司 幾子 課長 平成30年3月定例会会議録について説明する。  
本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。  
特に意見なく承認される。

1 0 本定例会会議録署名委員の指名

高田修委員並びに、村松淳司委員を指名し承認される。

1 1 一般事務事業報告及び事業計画

本明 陽一教育長 一般事務事業報告及び事業計画について事務局説明願います。

佐藤 博昭教育次長 一般事務事業報告及び事業計画について説明する。

本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。  
特に意見なく承認される。

1 2 専決処分報告

報告第 4 号 利府町教育委員会非常勤職員の委嘱について

報告第 5 号 利府町スクールソーシャルワーカーの委嘱について

報告第 6 号 利府町社会体育推進員の委嘱について

本明 陽一教育長 報告第 4 号から報告第 6 号については人事案件でありますので秘密会とする。

報告第 4 号利府町教育委員会非常勤職員の委嘱について事務局説明願います。

1 3 議 案

議案第 1 0 号 土曜日における子どもの居場所づくり事業活動コーディネーターの委嘱について

議案第 1 1 号 利府町放課後子ども教室推進事業コーディネーターの委嘱について

本明 陽一教育長 議案第 10 号及び議案第 11 号は人事案件でありますので秘密会とする。

議案第 10 号土曜日における子どもの居場所づくり事業活動コーディネーターの委嘱について事務局説明願います。

1 4 報告事項

(1) 児童・生徒の学力向上について

本明 陽一教育長 事務局説明願います。

佐藤 博昭教育次長 資料に基づき説明する。

本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。

村松 淳司委員 これで、英語の成績があがるのかが疑問である。率直な意見です。

加藤 東子委員 資料が新しくなり、年間の研修の種類も分かりやすいです。是非、先生方の研修も大事ですので参加できるように配慮をよろしくお願いいたします。それから、「3つの柱」についても再確認ができました。ただ、気になる部分がありました。資料の22ページの「英語の学力が低かったのも、調査時期」とありましたが、どのようなことなのでしょう。

佐藤 博昭教育次長 12月にテストを実施しましたが、1月までの単位がテスト範囲であったためです。本年度からテストを1月に実施することとします。

加藤 東子委員 範囲が終わる前にテストを実施したということですね。理解しました。

本明 陽一教育長 その他御意見ありますか。特に意見なく承認される。

## (2) いじめ・不登校対策について

本明 陽一教育長 事務局説明願います。

佐藤 博昭教育次長 資料に基づき説明する。

本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。

村松 淳司委員 不登校の保護者は面談に応じますか。

佐藤 博昭教育次長 ケースバイケースです。比較的面談には応じていただいております。

村松 淳司委員 面談に応じるということは、関心があるということですね。

加藤 東子委員 こうすれば間違いないということはないと思いますので、個々に応じた対応をお願いします。

高田 修 委員 役割分担も明確化しており、連携して対応していることと思いますが、家庭事情は、この組織図だけでは対応できない部分もあると思いますが、貧困の問題も含まれていますか。

佐藤 博昭教育次長 貧困問題もあります。両親の問題もあります。

高田 修 委員 親対応も含まれる場合、保健センターとの連携も必要ですがそちらとも連携は図られていますか。民生委員などとのつながりも必要であると思われます。

佐藤 博昭教育次長 学校にてケース会議を開催し、必要に応じて様々な機関との連携を図っております。

本明 陽一教育長 教育総務課長意見ありますか。

庄司 幾子課長 町としては、子どもの保護に関する地域協議会等もありますので、虐待や家庭内問題等様々なケースがありますが、教育次長からも話がありましたとおり、学校ではケースバイケースで必

- 要に応じ、関係機関との連携を図りケース会議を実施しております。
- 石川 一美委員 いじめ・不登校はなかなか根が深いものがあります。新聞記事にもあったが、仙台市で新たにいじめ件数が増加している。原因にある、悪口や仲間外れ、いたずらなどは、どこまでがいじめなのか今の子どもたちが精神的に弱いのではないかとも思われます。昔は学校が楽しくて、先生がいるから学校へ行こうだったが、今は楽しく感じないのではないか。先生の接し方も変化しているからなのか。色々なことを深く掘り下げてみた方がよいのではないか。
- 本明 陽一教育長 高田委員、学校や病院などにおいて多く子どもと接しておられますが、この件に関して御意見をお願いします。
- 高田 修 委員 パワハラ・セクハラなど世間を騒がせておりますが、悪口などで傷付いた場合、それはいじめと捉えましようとなってきた。子どもたちも学校に行く目的があれば学校に行くことが楽しくなると思いますので、ひとりひとりの関係性づくりを身に付けるには、コミュニケーションの授業を段階的に取り入れるなど、授業の工夫も考えていただければよいのではないかと思います。やってしまったことをただ指摘するだけでは、なかなか子どもたちは理解できないと思います。
- 佐藤 博昭教育次長 いじめ・不登校対策会議を 2 日間実施し、その内教頭対象の会議が 1 日ありました。その中でもお伝えしましたが、いじめが起きてから対処するのではなく起きないようにする、そのために何をするかということです。常に教育長がお話している集団づくりであると思います。お互いに褒めて認め合う、自己肯定感が持てるような集団づくり、そうすると子どもは、自分を認めてくれるから学校に行く、そのためには様々な方法があります。教頭方には、どんどん攻めてほしい、攻めの生徒指導をするように話しました。
- 村松 淳司 委員 パワハラといじめは似ています。被害者側の意識次第でもある。解決には時間もかかりますので寄り添っていただきたいと思います。
- 加藤 東子 委員 悪口などは、昔からあったと思います。少しのことで潰れてしまう子もいる。何を言われても大丈夫のように自信を持てるメンタルを育てることも必要であると思います。学校だけではなく、地域・保護者を巻き込んだ活動を利府町で育んでいただきたいと思います。
- 高田 修 委員 「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える子ども、環境づくりが必要である。大人や先生も謝ることができない人が多いと感じる。大人同士、先生同士も子どもの前で当たり前前に謝るこ

とができる関係性、コミュニケーションも必要ではないかと思えます。その点は大丈夫でしょうか。

佐藤 博昭教育次長 子どもはごめんなさいがすぐ言えるが、大人の方が凝り固まってしまう場合が多いと私自身も感じております。

村松 淳司 委員 4/4 にベネッセ教育総合研究所と朝日新聞にて、学校教育に対する保護者の意識調査結果の概要を公表しています。その問いの中で、どの地域でも同じ内容の教育を受けることができるように国が定めた方がよいという問いの回答が 7 割であり、子どもの個々に応じて学習内容をもっと選択できるようにするのがよいという問いに約 9 割の保護者が回答していました。差別化差別化への意見が多くなっているのが確かであり、学校間での競争が出てくるということは子ども間での競争、保護者間の競争が出てくると考えられる。親の認識が変わってきている。毎年調査しておりますので是非参考にしてください。

本明 陽一教育長 その他御意見ありますか。特に意見なく承認される。

(3) 平成30年度教育行政機構図について

(4) 小中学校職員一覧表について

本明 陽一教育長 事務局説明願います。

庄司 幾子 課長 資料に基づき説明する。

本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。特に意見なく承認される。

## 15 その他

(1) 平成30年5月定例会の開催について

本明 陽一教育長 事務局説明願います。

庄司 幾子 課長 5/24(木)午後1時から開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

本明 陽一教育長 事務局より説明がありました。御意見ありますか。特に意見なく承認される。

## 16 閉会宣言

本明 陽一教育長 閉会を宣言する。